



昨年に引き続き、かなり遅い梅雨明けでしたね。何とか8月に持ち越すことはありませんでしたが梅雨が明けるといきなりの猛暑、今年の“夏”もまた命の危険を感じるほどの気温の上昇に体調維持に一苦労です。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、とにかくガマン！ガマン！の年です。子どもたちの大好きなプールあそびもやむを得なく中止にさせていただきました。代わりに水に触れるあそびは積極的に取り入れ、夏にしか経験できない水の感触（つめたさ・きもちよさ）や感覚（ふしぎ・たのしい）に触れていきたいと思ひます。

さて、そんな暑い日が続く中、7日（金）は早々に立秋です。立秋とは『秋の気配を感じる頃』という意味だそうです。やっと夏らしくなってきた『秋！？』と思ってしまうのですが、この立秋は17日間続き、それを過ぎると『処暑（暑さがおさまる）』だそうです。これだけ温暖化の影響で天候も不安定だとこれまでの『暦』も見直し、『新暦』みたいにしないではいけない時代がやってきそうです。

ウイルスに対する注意や暑さに対する制限、園舎建て替えにより活動に制限はあるものの、子どもたちにはこれまでと変わることのない『ねらい』に基づき、季節を感じる製作や活動、お話など日本という国で生まれ育ちこの社会で自信を持ち生きていくために必要な力が身につくよう意識し、教育・保育に取り入れていきたいと思ひます。



《8月の行事予定》

日	月	火	水	木	金	土
						1.
2.	3. とうもろこしの皮むき（すみれ組）	4. ポテトサラダ作り（ゆり組）	5.	6. 広島平和記念日	7. ぎょうざピザ作り（ひまわり組）	8.
9.	10. 山の日	11.	12.	13. お盆 お弁当の日（水筒も）	14. お盆 お弁当の日（水筒も）	15. お盆 お弁当の日（水筒も） 終戦記念日
16.	17.	18.	19. 身体測定（乳児） 	20. 身体測定（幼児） 	21.	20.
23.	24. 避難訓練 	25. 誕生日会 おたんじょうびおめでとう 	26.	27. 幼児組 夏まつり（1日目）	28. 幼児組 夏まつり（2日目）	29.
30.	31. 園だより・献立表配布					

8月のほけんだより～気をつけよう！夏の感染症～

夏はプールの水を媒介して様々な病気が感染しやすく、集団生活であるこども園ではあっ！という間に広がることも多いです。夏、特に流行しやすい感染症についてよく理解した上で、おかしいな？と感じたら、早めの受診・治療を心がけて下さい。

咽頭結膜熱（7-フル熱）

症状→39℃以上の発熱とのどの痛み。他に、目のかゆみ、痛み、充血など、結膜炎のような症状がみられる。

対応→登所停止の病気。症状がなくなって2日以上経過ののち、こども園へは治療証明書の提出が必要。

手足口病

症状→大半は発熱がみられるが、発熱なく元気な場合もある。手のひら・足の裏・口の中・指の間・ひざ・体全体に、痛みを伴う水泡や赤みを持った米粒のような発疹がみられる。

対応→排泄物からウイルスが排出されるため、オムツ交換の際にはこまめに手洗い消毒を心がける。基本、元気であれば登所可能な感染症。

とびひ

症状→湿疹や虫刺されの痕をかき壊し、細菌感染する。膿を持った水泡ができて、かゆくてかきむしることで水泡が破れ、その手で他の部位を触ると全身または他人へも感染する。

対応→爪は短く切り、手洗いをこまめに行う。患部をガーゼで覆い、感染した部位を触らないようにする。治療するまでプールもできません。

【非認知能力について】

ひまわりさかえこども園では、『非認知能力』を人間の基盤とし育てよう、『非認知能力』に重点を置き、0歳～6歳までつなげる教育・保育を目指しています。

ここで『非認知能力』はなぜ大切と言われているのでしょうか？「それよりも勉強を教えて欲しい…」と思われるご家庭も実際多いのが現状です。もちろん、卒園後、小学校に就学する際に最低限身に付けておいてほしいことを毎年小学校の先生と連絡会を開き、意見交換をし、特別な教材はありませんが、必要な事柄については学びの部分も教育・保育に取り入れています。

以前、小学校の先生に「ひまわりさかえの子どもたちは絵を伸び伸び自由に描いていることに驚きました」と誉めていただいたことがあります。絵画は勉強では技術や技法は身につけても、描きたいものが何の躊躇（ちゆうちょ）もなく描くことは難しいもの。

それこそ、生まれてからの体験や経験、見たり感じたり、触れたりすることが潜在意識の中に蓄積され、必要な時にその潜在意識の中の引き出しから無意識に引き出され表現される…。それこそ、勉強だけでは身につけることのできない特別な能力ではないでしょうか。

その他 **ヘルパンギーナ** **水いぼ** などの発症も毎年報告されます。似たような症状で受診される際の参考にしてください。